

◆ 議長記者会見概要

日 時：令和2年7月3日（金） 15：30～15：42

場 所：県議会理事者控室

出席者：山本進章議長、乾浩之副議長



山本進章議長

乾浩之副議長

〈就任にあたって〉

○山本議長

このたび、多数の議員のご支持により、議長に選出いただきました。光栄であるとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。現在、奈良県議会では、政策提案や情報開示等、開かれた議会を目指して積極的に取り組んでおりますが、引き続き県民の皆様により分かりやすい議会運営となるよう努めていく所存です。

また、二元代表制の一翼を担う議会の代表者として、理事者と十分議論しながら、よりよい県勢の発展のために職責を全うしたいと思います。

県民の皆様をはじめ、知事、市町村長並びに報道機関の皆様方には、一層のご支持、ご協力をお願い申し上げます。

○乾副議長

このたび、多数の議員各位からご支持をいただき、副議長に選ばれ、本当に身に余る光栄です。その職責の重大さに身を引き締めて、これから議長を補佐して、県勢発展のために一生懸命頑張っています。

新型コロナウイルス感染症で大変な時代に入っていますけれども、議長や荒井知事とともに、皆さんが納得し、理解いただけるような対策に取り組んでいきたいと思っています。

<質 疑>

Q：お二人とも、議長職、副議長職は初めてですか。

議長、副議長：はい、初めてです。

Q：この1年間で特に取り組んでいきたい課題があれば、教えていただきたいですか。

議長：まず、新型コロナウイルス感染症について、奈良県では東京や大阪のように多くの患者が出ていませんが、収束したわけでもありません。観光など経済にも影響を及ぼしているので、今日議決した補正予算の早期執行を理事者に要望していかなければいけないと思います。半年程度で終わるのか、それとも第2波が来て再び緊急事態宣言となるのかといった状況をしっかりと見極めながら、県民の皆さんが納得して、安心・安全に暮らせるように、議会としても、第一に取り組まなければなりません。

それから、開かれた議会や議会改革については、例えば定数是正や、議員報酬、政務活動費などの問題がありますので、皆さんと議論を始めなければいけないと思います。

私は第101代の議長ということで、世紀でいうと新しいスタートになると思っています。新しい奈良県議会の姿を皆さんと一緒に作っていききたいと思っています。

副議長：議長からもお話がありましたが、やはり新型コロナウイルス対策が一番の緊急課題だと考えています。第2波が起こらないような施策を考える必要があるので、これから県民の皆さんの声を聞いて、それらを課題として取り組んでいきたいと思っています。そして、観光が元に戻って、奈良県にまた活気があふれるようにしたいと思っています。一日も早い収束を願っているところです。

それと、3年前の台風21号により、奈良県内でも大きな被害がありました。知事はそれから5年以内に内水被害をなくすための取組を打ち出されましたが、いち早く進め、県民が安心して暮らせるような、災害に強い奈良県にしていきたいと思っています。

Q：前議長が退任時に次の議長に開催してもらいたいと語っていた県内市町村の意見を聞くことについて、引き継いで開催されるのでしょうか。

議長：粒谷前議長からは、各市町村から約200名の方が参加予定であった「政策セミナー」について、新型コロナウイルス感染症のため開催できなかったと聞いています。荒井知事は奈良モデルを推進していますし、私は南部地域出身なので、南部東部地域の活性化のためにも、感染症が収束し、状況が改善すれば前議長が企画したセミナーを引き継いで開催したいと思っています。